

KAPITEL 01

S. 3

Z. 34 Katholischen Familienverband

正式名称はFamilienbund der Katholiken (FDK)、ドイツのカトリック系家族団体。1953年設立の公益団体で、11のカトリック団体により構成されている。教会、国家、社会、政治の場で家族の利益を代表する活動を行っている。

Z. 35 Malteser

マルタ騎士団。Sovereign Military Order of Malta(エルサレム、ロードス及びマルタにおける聖ヨハネ主権軍事病院騎士修道会)の通称で、医療・人道支援を主な活動とする国際機関。1099年にエルサレムで設立された世界最古の騎士団。カトリック精神に基づく中立的な立場で、世界120カ国で病院運営、災害救援、難民支援をしている。国土は有していないが国際法で認められた主権実体としてEUにのみ認定されている独自のパスポートを発行している。

Z. 35 Evangelischer Gesellschaft

福音主義協会。正式名はEvangelische Gesellschaft für Deutschland (EGfD)。1848年に設立されたプロテスタント系のキリスト教共同体連帯で、ドイツ国内に62の自由教会や共同体を束ねる団体。

Z. 35 betreut.de

家事・介護・育児・支援に関するサービスを仲介するドイツ最大級のオンライン・プラットフォーム。主なサービスは「育児」「オペア」「高齢者介護」「ペットの世話」「家事」「家庭教師」で、利用者が求人広告を出し、それを見たサポーターが応募するか、利用者が登録されているサポーターを検索して直接コンタクトを取るシステム。

KAPITEL 02

S. 6

Z. 1 Blatten

ブラッテン。スイス・ヴァリス(ヴァレー)州に位置する、アレッチ氷河の広がるアレッチ地方の山中にある山村。夏季はハイキング、冬季はスキーが人気のリゾート地。

Z. 2 Wallis

ヴァリス(ヴァレー)州。スイス連邦を構成する26の州(カントン)のひとつ。13の地区(ディストリクト)から構成され、州都はシオン。スイスの南西部に位置し、南はイタリア、西はフランスと国境を接する。フランス語とドイツ語の二言語州。

Z. 3 Kleines Nesthorn

クライネス・ネストホルン山。ブラッテンにあるアルプス山峰のひとつで、標高3,335メートル。周辺には氷河や急峻な地形が広がる。今回はこの山にあるビルヒ(バーチ)氷河が崩壊した。

Z. 7 Lötschental

レッツェンタール。スイス・ヴァリス(ヴァレー)州に位置する、谷。周辺には3,000m級の山々が連なる。総延長は約27km。アルプスハイキングの拠点として人気。

Z. 8 der Alpen

アルプス山脈。ヨーロッパ南西部を半月形に延びる全長約1,200km、幅130-200kmの山脈で、フランス語「Alpes」、イタリア語「Alpi」とも呼ばれる。最高峰はフランス・イタリア国境に位置しているモンブラン(4,810m)。語源はケルト語「alp(岩山)」からで、スイスの夏季放牧場「Alpe」も関連語。ライン川、ローヌ川、ポー川、ドナウ川などの水源地にもなっている。観光・スキー・登山の聖地として知られ、アルプス・ヒマラヤ造山帯の一部で、気候は厳しく氷河が多い。

S. 7

Z. 20 Lonza

ロンツァ川。ヴァリス(ヴァレー)州のアルプス山脈を流れる。全長約 27km。

S. 8

Z. 36 Matthias Bellwald

ブラッテンの自治体長(村長)。元軍人。2025 年 1 月に就任して、その約 5 か月後に今回の山体崩壊が起きた。

Z. 41 Bondo

スイス南東部グラウビュンデン州の小さな山村。2017 年 8 月 23 日、ピッツォ・チェンガロ山(3,369m)から約 400 万 m³の土砂が崩落して村を襲い、9 人が命を落とした。

Z. 42 Graubünden

スイス最大の州で東部に位置。面積 7,105km²、人口約 20 万人。州都はクール(人口 3.9 万人)、第 2 の都市はダボス(2.6 万人)。アルプス山脈に囲まれ、スイス国立公園やユネスコ世界文化遺産登録の高架橋・氷河列車が有名。ロマンシュ語圏で、冬はスキー、夏はハイキングの人気観光地。

Z. 45 ETH Zürich

チューリヒ工科大学(Eidgenössische Technische Hochschule Zürich)。1855 年に設立された世界トップクラスの理工系大学。チューリッヒに位置し、これまでに 22 人のノーベル賞受賞者(アインシュタイン含む)を輩出、国際的評価が高い。学生数約 2.4 万人。

KAPITEL 03

S. 10

Z. 2 Frankfurt am Main

フランクフルト・アム・マイン。ヘッセン州にある、ドイツに5番目に大きな都市。人口約 76 万人。フランクフルト空港は世界最大級のハブ空港であり、中央駅も最大級のターミナル駅。都市名の「アム・マイン」は「マイン川沿いの」という意味。ドイツにはオーダー川沿いにもフランクフルトがあり、そちらは Frankfurt an der Oder という名前である。

Z. 2 Stuttgart

ドイツ南西部バーデン＝ヴュルテンベルク州の州都。人口約 62 万人。自動車産業の中心地で、メルセデス・ベンツやポルシェの本社・博物館がある。起伏の多い地形にブドウ畑が広がり、ワイン産地としても知られている。

Z. 4 Freiburg

フライブルク。ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州の都市。人口約 23 万人、大学都市として知られる。ゴシック様式のフライブルク大聖堂、Bächle(街路の水路)、エコシティとして有名。旧市街は年間 300 万人の観光客が訪れる。

Z.4 Heidelberg

ハイデルベルク。ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州のネッカー川沿いの町。人口約 16 万人。ケルト・ローマ時代に遡る歴史を持ち、13 世紀からプファルツ選帝侯の首都として栄華を極めた。ハイデルベルク城(1225 年初記録)が街のシンボル。1386 年に設立されたドイツ最古の大学、ハイデルベルク大学がある大学町でもある。第 2 次大戦の被害が少なく、中世の建築物が残る。旧市街のアルテ・ブリュッケ、哲学者の道などが観光客に人気。

Z.4 Tübingen

テュービンゲン。ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州のネッカー川沿いの町。人口約 9 万人。1477 年設立のテュービンゲン大がある(学生数約 2.8 万人)。ヘーゲルやシェリングら哲学者が学んだ人文主義の地。街中に大学施設が点在し、中心は旧城跡の高台。マックス・プランク協会など連邦研究機関も集積している。

S. 11

Z.28 Reutlingen

ロイトリンゲン。ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州のシュヴァーベン地方に位置する中核都市。人口約 12 万人。1050 年頃初出の歴史ある街で、世界最長の教会「聖マリア大聖堂」(全長 66m)がシンボルとなっている。繊維・機械産業が盛ん。旧市街には木組みの家が多く見られる。

KAPITEL 04

S. 14

Z. 2 Städtischen Bibliotheken Leipzig

ライプツィヒ市立図書館。ザクセン州・ライプツィヒにある市立図書館。15 世紀初頭の寄贈から始まり、長い歴史がある。1711 年正式に開館し、1836 年に市立図書館と命名。19 世紀に入り、歴史・地理・文学・音楽部門を強化。現在は 15 の分館と移動図書館、本館で構成されている。音楽コレクション(ベッカー・コレクション)が有名。

Z. 2 Wolfgang Amadeus Mozart

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)。ザルツブルク出身の作曲家。古典派。35 年の短い生涯で 600 以上の作品を作った。

Z. 6 Serenate ex C

セレナーデ ハ長調。1769 年頃、モーツァルトがザルツブルク時代に作曲した初期のセレナーデ。若々しく明快なハ長調の響きが特徴で、宮廷や街の祝宴用として書かれたと考えられている。複数楽章から成り、行進曲風の部分や優雅なメヌエットなど、多彩な小品を組み合わせた祝祭的な性格の作品。「Ganz kleine Nachtmusik」と名付けられた。

Z. 7 Carl Ferdinand Becker

カール・フェルディナント・ベッカー(1804-1877)、ドイツのオルガニスト、作曲家、音楽学者。ライプツィヒで活動し、教会のオルガニストを務めた。特にバッハ以前・同時代の音楽の研究・紹介に尽力し、古い鍵盤音楽の復興に大きく貢献した。また、楽器コレクター、批評家としても知られ、当時の音楽史研究の基礎を築いた一人とされている。

S. 15

Z. 14 Köchelverzeichnis

ケツヘル番号。モーツァルトの全作品を年代順に整理・分類した作品目録で、オーストリアの音楽学者ルートヴィヒ・フォン・ケツヘル(Ludwig Alois Ferdinand Ritter von Köchel: 1800-1877)が 1862 年に編纂した。作品には「K.」または「KV」と番号が付けられ、「交響曲第 40 番 K.550」のように標記される。後年の研究により改訂版が複数存在し、現在もモーツァルト作品を特定・研究するための基本的な参照体系として使われている。

Z. 16 Die Internationale Stiftung Mozarteum Salzburg

ザルツブルク国際モーツァルテウム財団。モーツァルトの研究・普及を目的として 19 世紀に設立された財団。モーツァルトの生家の管理、資料や自筆譜の保存・研究、学術版楽譜の編集、コンサートやモーツァルト週間(Mozartwoche)の開催など、多角的な活動を通じて世界的なモーツァルト研究の中核機関となっている。

Z. 17 Verlag Breitkopf & Härtel

ブライトコプフ・ウント・ヘルテル出版社(日本での通称:ブライトコプフ)。1719 年創業のドイツ・ライプツィヒにある楽譜出版社で、世界最古級の出版社の一つ。バッハ、ベートーヴェン、シューベルトなどの作品を多数出版し、近代的な楽譜浄書や全集企画の先駆的存在。現在も原典版や全集、教育用楽譜などを幅広く刊行し、クラシック音楽出版の中核的な役割を担っている。ちなみに、モーツァルトの全集はブライトコプフによってはじめて出版された。

Z. 23 Salzburg

ザルツブルク。オーストリア中北部、ドイツ国境近くにある都市で、ザルツァハ川沿いに位置している。人口約 16 万人。塩(Salz)交易で栄え、中世以降は大司教領として独自の文化を形成した。モーツァルト生誕地として世界的に知られ、彼の生家や、ホーエンザルツブルク城など歴史的建造物が残り、旧市街はユネスコ世界文化遺産に登録されている。毎夏のザルツブルク音楽祭も有名。

Z. 26 Musikschule „Johann Sebastian Bach“

ヨハン・セバスチャン・バッハ音楽学校。ドイツ・ライプツィヒにある音楽学校で、市立音楽・演劇学校(Hochschule für Musik und Theater „Felix Mendelssohn Bartholdy“)の附属機関として位置づけられている。バッハゆかりの地の教育機関として、子どもから大人までを対象に器楽・声楽・理論などの実践教育を行い、地域の音楽普及と次世代音楽家の基礎育成に重要な役割を果たしている。

Z. 29 Ulrich Leisinger

ウルリヒ・ライジンガー(1964-)。バーデン・バーデン出身の音楽学者。特にモーツァルト研究で知られている。ザルツブルクの国際モーツァルテウム財団の研究部門長。『新モーツァルト全集』や原典版楽譜の編集長。2004 年まではライプツィヒにあるバッハ・アーカイブ(Bach-Archiv、後述)の研究担当副所長を務めた。

Z. 29 Mozarteum

上記 Z.16 Die Internationale Stiftung Mozarteum Salzburg を参照

Z. 31 Bach-Archiv

バッハ資料館、バッハ・アーカイブ。ドイツ・ライプツィヒにあるバッハの研究機関。1950 年に設立され、ヨハン・セバスチャン・バッハおよび一族に関する自筆譜、文書、初版譜、文献などを収集・保存・研究している。学術誌『Bach-Jahrbuch』の刊行、バッハ全集・新原典版の編集、展覧会や講演、バッハ・コンクールなどを通じて、世界的なバッハ研究・普及の拠点となっている。

S. 16

Z. 37 Deutsche Grammophon

ドイツ・グラモフォン。1898 年創業(創業地はハノーファー)のドイツの老舗クラシック専門レーベル。現在はユニバーサルミュージック傘下にある。カラヤン、バーンスタイン、ポリーニ、アルゲリッチなど 20 世紀を代表する演奏家の録音を多数制作。近年は歴史的な名盤のリマスターや、映像配信・デジタル展開にも積極的に取り組んでいる。

Z. 42 Gewandhausorchester Leipzig

ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団。1743 年創設の名門オーケストラ。世界初の民間オーケストラとして、ライプツィヒで発足。ゲヴァントハウス(Gewandhaus、「織物会館」の意)を本拠地としている。メンデルスゾーンをはじめ歴代カペルマイスターが伝統を築き、特にドイツ・ロマン派作品の解釈で高い評価を獲得。

Z. 42 Herbert Blomstedt

ヘルベルト・ブロムシュテット(1927-)。スウェーデン出身の指揮者。ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団などを率いてきた。ベートーヴェンやブルックナー、ニールセンで高い評価を得ている。NHK 交響楽団の桂冠名誉指揮者でもあり、毎年客演している。2026 年現在活躍する現役指揮者の中で最高齢。

KAPITEL 05

S. 22

Z. 33 Deutschen Krebsforschungszentrum

「ドイツがん研究センター」。ハイデルベルクにある国立研究機関。がんの基礎・臨床研究、予防、診断、治療法開発を推進し、大学病院などと連携して成果を医療へ橋渡しをしている。

KAPITEL 06

S. 24

Z. 3 des Bundesoberstufenrealgymnasium (BORG)

オーストリアの学校種別の一つである Gymnasium のうち、理系、かつ上級(後期)4 年型で国立(連邦立)のもの。Gymnasium は大学進学を見据えた 8 年制(前期:10 ~14 歳、後期:14~18 歳)の中等教育学校。Realgymnasium は数学・自然科学重視。後期 4 年間のみのものが Oberstufen(real)gymnasium という。(Real)gymnasium の前期を終えたときに学校を選び直す、Neue Mittelschule(一般の中学校。前期中等教育 10~14 歳)から入る、または条件を満たせば職業系学校からのルートもある。

Z. 4 Dreierschützengasse

オーストリア・シュタイアーマルク州の州都であるグラーツ市内、グラーツ中央駅の西側にある通り。そのまま西に行くとエッゲンベルク城(2025 大阪・関西万博のオーストリア館でも話題になった「豊臣期大坂図屏風」が展示されている)がある。グラーツ大聖堂やグラーツ大学は、グラーツ中央駅の東側。

Z. 4 Graz

グラーツ。オーストリア第二の都市。シュタイアーマルク州の州都。人口約 30 万人。1999 年に街の中心部がグラーツ市歴史地区として世界遺産に登録され、2010 年に拡大登録されている。大学都市で、多くの学生、研究者が居住する。旧市街は市中央部のムール川東岸に位置し、川向いには現代美術館もある。自動車産業が盛ん。

KAPITEL 07

S. 28

Z. 9 Bayern

バイエルン州。ドイツに 16 ある連邦州の一つ。州都はミュンヘン。ドイツ最大の州で、南部には山岳地帯が広がる。古くはバイエルン公国、バイエルン王国であった。ドイツの中で、カトリック教徒の多い州の一つ。

Z. 12 Nordrhein-Westfalen

ノルトライン=ヴェストファーレン州。ドイツに 16 ある連邦州の一つ。州都はデュッセルドルフ。オランダとベルギーとの国境に接する。州別で見ると人口は国内第 1 位。州の西部には歴史的にも有名なルール工業地帯がある。ドイツ全体で 13 しかない人口 50 万人以上の都市のうち、4 つがこの州に集まっている。

S. 29

Z. 24 Wien

ウィーン。オーストリアの首都。都市州でもあり、9 つの連邦州のひとつ。人口約 200 万人。第一次世界大戦までは、オーストリア=ハンガリー帝国の首都として、ドイツ帝国を除く中東欧の大部分に君臨し、さらに 19 世紀後半までは神聖ローマ帝国やドイツ連邦を通じて、形式上はドイツ民族全体の帝都でもあった。国際原子力機関(IAEA)や石油輸出国機構(OPEC)の本部がある。

S. 30

Z. 43 Großbritannien

イギリス。ドイツ語での正式名は **Vereinigtes Königreich Großbritannien und Nordirland**。ヨーロッパ大陸北西岸に位置する立憲君主制国家。首都はロンドン。1993 年に EU に加盟するも通過統合は見送り、経済的に安定している多くの国が自国の通貨をユーロに移行する中、ポンドを維持。2016 年の国民投票で EU 脱退が決定し、2020 年 1 月に脱退した。

KAPIEL 08

S. 34

Z. 7 Nüssli

スイスに本社を置く、イベントおよび特殊建設を専門とする企業。スポーツ、文化、ビジネス分野のイベントや施設を建設することを得意とする。2025 年の大阪・関西万博では、5 カ国(スイス、オーストリア、ブラジル、クエート、ウズベキスタン)のパビリオンを建設した。ドイツ・ベルリンにあるユダヤ博物館や、ドルトムントにあるドイツサッカー博物館も手がけている。

Z. 8 Thurgau

トゥールガウ州。スイスに 26 ある州(カントン)の1つ。ドイツ語圏。州都はフラウエンフェルト。ボーデン湖に面しており、ボーデン湖の対岸はドイツ、オーストリアである。州の北西にはライン川が流れ、ライン側の対岸はドイツ。

S. 35

Z. 12 Usbekistan

ウズベキスタン共和国。首都はタシュケント。北にカザフスタン、北東にキルギス、南東にタジキスタン、南にアフガニスタン、南西にトルクメニスタンがある。共和制、大統領制の立憲国家。公用語はウズベク語(トルコ語やアゼルバイジャン語などとともにテュルク語族に属する)。様々な民族によって構成されている多民族国家とされる。

Z. 13 Brasilien

ブラジル連邦共和国。首都はブラジリア。連邦共和制国家。26 の州と連邦管区の連合で構成。南アメリカ大陸最大の面積(日本の国土の 22 倍)、最多の人口を擁する国家で、面積は世界第 5 位、人口は世界第 7 位(2024 年現在)。ウルグアイ、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア、ペルー、コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナと国境を接しており、南米諸国で接していないのはチリとエクアドルだけである。

Z. 13 Kuwait

クウェート国。首都はクウェート市。西アジア・中東に位置する立憲君主制国家。公用語はアラビア語。1990 年にイラクに一時占領された(湾岸危機)。北と西にイラク、南にサウジアラビア、東にペルシャ湾がある。1899 年にイギリスの保護国になった後、1914 年にはイギリスの自治保護領、また第一次世界大戦後にはイギリスの植民地となる。イギリスからの独立は 1961 年。

Z. 29 Beethoven

ルートヴィヒ・ファン・ベートホーフェン(1770-1827)。日本語ではルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンと呼ばれる。ドイツの作曲家。祖父の代まで現在のベルギーにあたるフランドル地方の血筋で、姓 van Beethoven はオランダ語(van はドイツ語の von、Beethoven はドイツ語の Bete「カブ」+Hof「庭園」)である。祖父がフランドルからボンに移住している。モーツァルトに憧れて、16 歳のときウィーン留学を試みるが、母親が危篤になったため帰郷している。その後、ハイドンの弟子になるため、21 歳でウィーンに移り住み、没するまでの 35 年近くをウィーンで生きた。ウィーン時代のほうが長いため、「ベートーヴェンはオーストリアの作曲家だ」と言われることもある。

KAPITEL 09

S. 38

Z. 2 Lausitz

ラウジッツ。ドイツ・ザクセン州東部とブランデンブルク州東部にまたがる地域。ソルブ人が住む地域。Kamenz, Cottbus, Hoyerswerda を結ぶ三角形の中にソルブ人の多くが住んでいる。ラウジッツの褐炭は、旧東ドイツのエネギー産業を支えていた。ドイツ統一後は褐炭需要の減少と環境問題への関心により産業が縮小し、深刻な失業と人口流出の問題が生じている。森や湖などの豊かな自然環境を有する地域であり、シュプレーヴァルトやムスカウ公園などの観光地がある。

Z. 3 Dresden

ドレスデン。ドイツ・ザクセン州の州都。人口約 56 万人。ドイツの東の端にあり、チェコ共和国との国境近くに位置する。近くには、陶磁器の町として有名なマイセンもある。1806 年に神聖ローマ帝国が解体し、ザクセン王国が成立した後は、ドレスデンがその首都であった。

Z. 3 Cottbus

コト布斯。ドイツ・ブランデンブルク州の都市。人口約 10 万人。州内では州都ポツダムに続いて二番目に大きい。シュプレー川沿いに位置する工業都市で、ポーランドとの国境まで 20km ほどである。スラヴ系のソルブ人も居住している。そのため、街の標識がドイツ語と下ソルブ語で併記されている。町の博物館(Wendisches Museum)に様々な展示がある。

Z. 8 Bautzen

バウツェン。ザクセン州東部の町。人口約 4 万人。チェコとポーランドの国境に近い位置にある。ドイツの少数民族であるソルブ人の町としても知られている。

S. 39

Z. 13 Sachsen

ザクセン州。ドイツ東部に位置する、ドイツ 16 連邦州のうちのひとつ。州都はドレスデン。旧東ドイツ。

Z. 14 Brandenburg

ブランデンブルク州。ドイツ語と下ソルブ語が公用語。州名は下ソルブ語で Kraj Bramborska。ドイツ 16 連邦州のうちのひとつ。州都はポツダム。首都ベルリンは地理的にはこの州内にあるが、ベルリンは独立した州である。

Z. 15 Hoyerswerda

ホイヤースヴェルダ。ドイツ・ザクセン州の都市。人口約 3 万人。ブランデンブルク州との州境に近い。ドイツ東部の少数民族ソルブ人が居住している。第二次世界大戦後、東ドイツ政権下で大規模な褐炭コンビナートが開発され、労働者居住区として「社会主義者ニュータウン」が設けられて人口が増加した。

Z. 28 Otfried Preußler

オトフリート・プロイスラー(1923-2013)。ドイツの児童文学者。代表作に『大どろぼうホッツェンプロッツ』『クラバート』など。第二次世界大戦で 1944 年に捕虜となり、1949 年 6 月に解放。1953 年から 1970 年にかけて小学校の教師を務め、バイエルン州ローゼンハイムでは小学校長となる。この間に作家・イラストレーターとしての才能が開花し、『大どろぼうホッツェンプロッツ』シリーズが 1962 年から、『クラバート』が 1971 年に出版されている。

S. 40

Z. 30 Schwarzen Mühle

シュヴァルツコルムにある黒い水車。もともと「黒い水車」と呼ばれていた建物がああり、それがクラバート伝説の主要な舞台となっているものであったが、1868 年に焼失した。その後、その後、再建されたが、1972 年に操業停止となり住宅に改築された。現在の水車は、1990 年代以降に観光文化施設として新たに建設された復元建築。

Z. 30 Schwarzkollm

シュヴァルツコルム。東ザクセンにある地区名。上ラウジッツ地方のソルブ人居住地域内に位置している。ソルブの伝説的人物クラバートと「黒い水車」によって有名となった。1394 年に初めて Cholm という名で言及されていることが記録に見られる。ホイヤースヴェルダの東に同名の Kollm 村があり、後に Weißkollm(白コルム)と名付けられたのと区別するために、当地は Schwarzkollm(黒コルム)と名付けられたとされている。

KAPITEL 10

S. 43

Z. 16 Lydia Staltner

ドイツ・ミュンヘン出身。長年にわたり企業の秘書・アシスタント職などに従事。ミュンヘンで、冬でもサンダルを履く高齢女性を見かけたことから「都市の中の高齢者貧困」の現実に衝撃を受ける。2003 年に LichtBlick Seniorenhilfe e.V. をミュンヘンで設立し、年金だけでは生活できない高齢者への無条件支援を開始。2007 年、Angela Merkel により「模範的社会プロジェクト」として表彰される。2015 年、バイエルン州より「社会功労国家メダル」受章。2018 年、女性誌 BILD der FRAU の「日常のヒロイン賞」受賞。

Z. 17 Lichtblick Seniorenhilfe e.V

ドイツの高齢者の貧困と孤立に取り組む、非営利の福祉団体。設立者は Lydia Staltner。2003 年設立。主に低年金で生活に困窮する高齢者を支援している。本部所在地はミュンヘンで、他にミュンスター、ベルリン、デッゲンドルフなどにも拠点を持つ。2024 年の時点で約 3.1 万人の高齢者が登録されている。原則として 60 歳以上でドイツの年金受給者であることが支援を受ける条件となっており、収入と固定費を基に支援の必要性が判断される。